

Community Crossing Japan

×

復興応援団

防災減災研修・ワークショップを行い、
“よき避難者”を育てるプロジェクト



復興応援団

FUKKOU-OUENDAN

東日本大震災後の2012年に、人間関係が希薄な大都市において人々は助け合えるのだろうか、という危機感から生まれたプロジェクト。

【団体名】 Community Crossing Japan

【代表】 荒 昌史

【事業】 集合住宅やオフィス、商業施設、駅といった多くの人々が滞在する場所へ防災減災研修を提供する

「地元の人々が中心となった東北地域の復興を実現する」をビジョンに活動する一般社団法人。

【団体名】 一般社団法人 復興応援団

【代表】 佐野 哲史

【事業】 南三陸町を起点とした、地元農業・漁業へのボランティア受け入れと同時に、被災地の知見を生かした防災減災研修をCCJとともにやっている

共助の防災減災事業の仕組み

CCJの地縁づくりのノウハウ

×

復興応援団の被災地・避難所の知見と被災地のネットワーク



復興応援団

FUKKOU-OUENDAN

「よき避難者」を育成

駅

商業施設

大型集合住宅

オフィス

※多くの人が滞在し、人々の共助が成り立たなければ、甚大な二次・三次災害へとつながる可能性の高い場所

防災減災教育の盲点

フェーズに応じた防災減災教育

東日本大震災を経て、防災減災教育・復興教育が手薄なことが確認されました。

自分の身を守る防災教育・危機管理教育は広く行われておりますが、避難生活から生活再建、復旧・復興については、まだまだ十分とは言えません。



今までの防災減災教育・危機管理教育

防災減災教育・復興教育が手薄・ほとんどない

特に手薄な、**避難生活**に焦点を当て
各施設に合わせた防災減災対策を提案しています

従来の防災減災研修との違い

コンセプト

防災減災への近道は、私たち自身が
「よき避難者」となること

受け身の防災
(何かしてもらおう立場)



主体的な防災
(何かしてあげる立場)

ハード・マニュアル重視
(想定した事への備え)



ソフトも重視
(想定外の事への備え)

自助
(いかに避難するか)



(+) 共助
(+いかに助け合って
避難生活を送るか)

これまでの実績



復興応援団
FUKKOU-OUENDAN

避難所の運営に携わっていた方22名にインタビューを重ね、大震災を生き抜いた叡智を、他地域に伝えるための書籍をつくりました。

概要

「よき避難者」の手引き

～大震災のリアルとメッセージ～

2012年から2014年にかけての約2年間に現地調査に費やし、宿泊施設・行政・避難所運営といった東日本大震災が起きてからの被災者の生活に関わった方を取材し、まとめたものです。

▶本書の特徴

- これまでの防災で想定されていた発災後72時間以内を超え、その後の生活再建や復興といった視点を盛り込む。
- 医療／水といった普段私達の生活では恵まれすぎているばかりに危機感が薄れがちなサービスが非常時にはどうなったのか？といった大きなメディアでは大々的に報道されない視点も含まれています。



調査期間: 2012年10月3日～2014年6月4日

調査対象: 宮城県内の、避難所運営に関わっていた方、あるいは運営事情によく通じた方
(当時の立場、セクター、所属団体、活動領域を問わず)

調査方法: 1時間半～2時間の対面インタビュー

調査件数: 22件

B.企業対象の事業

スタディツアーやコンサルティング

東北スタディツアー

前述の「よき避難者の手引き」に掲載されている事例や教訓を、
現地の担い手から直接学んでもらうための一泊二日の学びの機会を提供しています。

東北スタディツアー

宮城県沿岸部や都市部など、実際に被災した施設や
避難所にて過ごした方々のお話を伺います。

2014年7月に第一回を開催
参加企業:3社

2015年11月に第二回を開催
参加企業:2社



『そなえるカルタ』制作
コンサルティング



01 導入
マンションで被災生活を送ろう。

- 詳細が安全であれば、マンション内で被災生活を過すでしょう。
- 無人搬送のマンションやオフィスなどは、避難していただければ建物内で被災生活を過す方が容易から実施されています。
- 建物が安全でない場合は、近所の避難所に行く可能性もあるのを確認しておきましょう。

この冊子が使うの？
避難所
避難所
避難所
平常時

13 トイレ
トイレの不衛生が感染症の原因に。

- 衛生環境が悪化すると、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症が多発するおそれがあります。
- 東日本大震災では、避難所のトイレの清掃・衛生環境の改善が大きな課題となりました。

この冊子が使うの？
生活期
被災生活期

Q共用棟のマンホールトイレの管理は、どうしますか？

13 トイレ
清掃当番のルール化でトイレをきれいに保とう。

- インフルエンザに感染する可能性は高い。事前に清掃を行い、清潔に保ちましょう。
- 清掃当番のルールを定めておきましょう。

この冊子が使うの？
生活期
被災生活期

45 情報
近隣住民が救命の大きな力に。

- 相神・波島水産では、避難所開設1万人の例、約4割が2万人は近隣住民により救済されました。

この冊子が使うの？
情報期
被災期

Q安否確認の方法、どうしますか？

45 情報
安否確認の方法、ルール化しよう。

- 呼びはるものは、近所です。
- 呼びはる方法は、近所です。
- 近所から呼びはる方法は、近所です。
- 近所から呼びはる方法は、近所です。
- 近所から呼びはる方法は、近所です。

この冊子が使うの？
情報期
被災期

マンション防災において住民が自ら考え、対策を練るためのワークショップツール「そなえるカルタ」を三菱地所レジデンスと制作しました。

C.住民対象の事業

マンションにお住まいの方対象の ワークショップとコンサルティング

各種ワークショップ



親子向け



住民向け



多世代向け



事業者向け

CLASS

in the forest



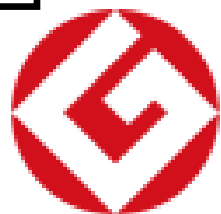
ザ・パークハウス 西新宿タワー60の防災を担当

再開発が進む西新宿エリアに日本最高階数60階建てのマンションが建設されており、入居前から入居後までの6年間で計60回のエリアコミュニティ支援プログラム「西新宿CLASS in the forest」を立ち上げました。

CCJはプログラムの主要テーマの一つである防災減災を担当し、入居前から実践的な防災ワークショップを実施すると共に、入居後は住民主体の防災訓練につなげていくことを目指しています。



D.受賞歴



GOOD DESIGN AWARD 2015

三菱地所レジデンスとの共同開発「そなえるカルタを使った防災プログラム」と
ザ・パークハウス 西新宿タワー60 のコミュニティプログラム

「西新宿CLASS in the forest」が
ダブル授賞しました！





Manifesto Awards

第10回マニフェスト大賞の
「優秀復興支援・防災対策賞」を受賞しました！

